

赤イ川鋼製ダム改良工事の検証

1. 改良工事の目的

(1) 連結玉石護岸工

鋼製ダムにより発揮していた崩壊地拡大防止のための山脚固定機能の維持および植生の回復促進のため施工した。

なお、工法は出水時の流速に対応できる粒径を勘案し、自然石連結工法とした。

(2) 掘込み流路および捨て石工

魚類の遡上環境として、常水～中小出水時の水深等を確保する目的で施工した。

また、流路の変動は許容しているが、急激に堆砂が流出しないよう捨て石工を併用した。

(3) 分流堰

崩壊地脚部が本流の水衝部に位置していたため、常水を流さないことにより崩壊地脚部の植生回復等に影響が出ないようにする目的で施工した。

2. 改良工事の検証

(1) 連結玉石、掘込み流路、捨て石工は若干の石抜け、変状が見られる箇所があるが、上記の目的は達せられている。

(2) 出水により急激に堆砂が流出した箇所は、流出したのが殆ど砂礫であり、下流域にも被害がなかったこと及び下流域の住民等と合意形成が図られたことから自然の推移に委ねることとした。

(3) 砂礫が流出した箇所の推移を見ていくことにより、河川横断工作物の改良を行っていく場合、必要な防災機能と自然環境の調和をどう図っていくか今後に向けて取り組んでいくこととする。